



# めざせ！！南十字星

★夢と勇気と元気をもって★ 2019. 5. 15

学校だより

## 4・5月号

ヨハネスブルグ日本人学校

## 平成31年度、新学期スタート!!

新入生5名（小学部3名・中学部2名）

全校児童生徒39名、教員11名

どこまでも続く青い空、さんさんと輝く太陽、そして、さわやかな風がそよぐ、ここ南アフリカ共和国、ヨハネスブルグ。4月11日、小学部3名（桑原玲乃さん、戸田稜大君、橋本沙希さん）中学部2名

（西村真久君、和田翔太君）の入学式が在南ア日本国大使館、丸山則夫全権大使閣下をはじめ、及川亮平日本人会会長様、本校の西村運営委員長様を来賓に迎え、厳粛に挙行されました。

新入生は、緊張の中にも、前をしっかりと見て、学校長並びに来賓の皆様のお話を真剣なまなざしで聞いていました。これから始まる学校生活に新たな夢を持ち、頑張ってくれるものと思います。

入学式後、在校生も新しい担任のもと学級開きが行われ、平成31年度のスタートを切りました。

さて、私、本年4月よりヨハネスブルグ日本人学校に着任しました校長の緒方和幸と申します。まだ、右も左もわからず、右往左往することもあります。早く現地になれば、39名の子供たちと11名の先生方、そして、17名の現地スタッフとがっちりスクラムを組み、より良い学校づくりにまい進する覚悟です。どうぞよろしく願いいたします。

なお、今年度のヨハネスブルグ日本人学校の経営方針は以下の通りです。

キーワード 「1に安全, 2に教育, 3に信頼」

めざす学校の姿 「夢と勇気と元気をもって、みんなで作ろう楽しい学校」

先生と児童との合言葉 「あいさつが元気, えがおが元気, こころが元気」



### <校長室からひとこと>

~どうぞよろしく願い致します~

青い空と緑あふれる大地、そして、さんさんと輝く太陽に清々しい空気、さらに、新鮮な野菜にリーズナブルな肉とワイン、素晴らしい地に派遣して頂き、感謝、感謝です。

さて、まずは私の自己紹介をさせていただきます。出身は宮崎県西都市です。小学生の頃は、好奇心旺盛な子供で、近くの山では、肥後守（小刀）をもって、鳥の罠をかけたたり、木の上に住処（すみか）を作ったり、自宅裏の大川では、夏は朝から晩まで魚を追いかけていました。中学校では、野球部に所属し、真っ黒になりながら白球を追いかけて、高校時代は陸上競技に専念し、ハードル種目で県一になり、山形インターハイに行かせて頂きました。大学時代は愛媛県松山市で過ごし、専門の海拓水工学を学ぶ傍ら、暇を見つけては、日本全国を旅し、北は礼文島から南は西表島まで旅しました。大学院時代は海外を自分の足で歩きたく、バックパッカーとしてインド、東南アジアを旅しました。その後、専門を生かして、企業に就職しましたが、小さいころからの夢の一つでもあった教職に就き、現在に至っています。その間、多くの教え子、同僚、先輩方に恵まれ、有意義な時間を持つことができました。

ヨハネスブルグ日本人学校には、その集大成として勤務させていただき、世界で活躍される親御さんのもと、将来は日本を担うであろう子供たちのために、少なからず、貢献できたらと思っています。どうぞよろしく願い致します。



44年前の私